

平成21年11月期 第1四半期決算短信

平成21年4月3日

上場会社名 株式会社 T&Cホールディングス
 コード番号 3832 URL <http://www.tandch.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長
 四半期報告書提出予定日 平成21年4月10日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 大

(氏名) 田中 茂樹
 (氏名) 笠屋 雅義

TEL 03-5425-7013

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年11月期第1四半期の連結業績(平成20年12月1日～平成21年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年11月期第1四半期	318	—	△49	—	△78	—	△74	—
20年11月期第1四半期	332	15.3	△17	—	△38	—	△53	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年11月期第1四半期	△5,046.27	—
20年11月期第1四半期	△4,171.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年11月期第1四半期	2,537	1,294	26.9	46,262.56
20年11月期	2,738	1,332	26.8	50,146.78

(参考) 自己資本 21年11月期第1四半期 683百万円 20年11月期 735百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年11月期	—	—	—	—	—
21年11月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年11月期の連結業績予想(平成20年12月1日～平成21年11月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	1,328	112.0	207	—	169	—	260	—	17,732.92
連結累計期間	2,428	91.9	445	—	418	—	451	—	30,759.79

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名 株式会社T&C FIホールディングス) 除外 1社 (社名)
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年11月期第1四半期	14,778株	20年11月期	14,662株
② 期末自己株式数	21年11月期第1四半期	—株	20年11月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年11月期第1四半期	14,738株	20年11月期第1四半期	12,858株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 業績等の概要

当第1四半期連結会計期間における世界経済は金融危機の深刻化から同時不況の様相が強まり、我が国経済も外需の減退による企業収益の悪化や雇用不安の拡大を受け景気後退の色合いが一段と鮮明化しました。内外の株式市場では、実体経済悪化の影響を受け調整色の強い展開となりました。

当社グループの事業領域である金融業界においては、各国の中央銀行・政府が信用収縮回避に向け資金供給を軸とした救済策を打ち出すとともに、金融機関への監督・規制強化にも積極的な取り組みを見せました。

当社グループは、このような激動期の中で、中立性の高い投資情報をタイムリーに投資家の皆様にお届けし、資産形成に役立てて頂けるよう、更なるコンテンツの充実と品揃えの強化を進めております。しかしながら、業績につきましては不透明感の強い金融市場の影響を免れず、足取りの重い展開を余儀なくされました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は318,684千円（前年同期比13,849千円の減少）、営業損失は49,133千円（前年同期比31,466千円の増加）となりました。なお、前年同四半期の増減金額は参考として記載しております。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 投資情報提供事業

投資情報提供事業においては、中間持株会社を新設し、事業活動の責任の明確化と事業展開のスピードアップを進めております。当第1四半期連結会計期間においては、為替国際金融情報、中国における金融データベース提供業務が好調に推移しましたが、国内の日本株・中国株投資情報提供業務の売上が前年同期を下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間における投資情報提供事業の売上高は250,439千円（前年同期比15,878千円の減少）、営業利益は35,308千円（前年同期比5,191千円の減少）となりました。

② 金融アドバイザー事業

金融アドバイザー事業においては、金融不安を背景とした市場の低迷から、ファンド契約の伸び悩みに伴い販売手数料・管理料収入が前年同期を下回りました。また当社グループが保有するファンドの償還がなく責任投資による売上計上もありませんでした。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間における金融アドバイザー事業の売上高は44,027千円（前年同期比15,217千円の減少）、営業利益については1,152千円（前年同期比23,599千円の減少）となりました。

③ その他の事業

エンターテインメント事業においては、フォーマット販売によるコンサルティング料や、安定的な収益確保とリスク軽減を狙った海外セールス部門での売上が計上しました。また、ライセンス事業においては、特許使用料を売上計上しました。

以上の結果、その他の事業の売上高は24,217千円（前年同期比17,246千円の増加）、営業損失については3,814千円（前年同期は営業利益1,420千円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて201,760千円減少し、461,953千円となりました。これは主に短期貸付金が90,782千円、現金及び預金が55,928千円、売掛金が41,576千円減少したことが原因となっております。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて737千円増加し、2,075,464千円となりました。これは主に投資有価証券が18,812千円増加したものの、関係会社株式が18,802千円減少した等あまり大きな動きがなかったことが原因となっております。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて、201,023千円減少し、2,537,418千円になりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて130,903千円減少し、781,791千円となりました。これは主に短期借入金が70,042千円減少したこと、及び社債が36,500千円償還となったことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて31,582千円減少し、461,169千円となりました。これは主に長期借入金が34,000千円減少したことが原因となっております。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて、162,485千円減少し、1,242,961千円になりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて38,537千円減少し、1,294,457千円となりました。これは主に少数株主持分が13,046千円増加し、資本金が10,017千円増加したものの、利益剰余金が74,372千円減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間におけるキャッシュ・フローについては、営業活動により13,629千円増加し、投資活動により62,330千円増加し、財務活動により138,144千円減少いたしました。この結果、現金及び現金同等物は55,928千円の減少となり、期末残高は143,713千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、13,629千円となりました。これは、税金等調整前当期純損失78,865千円などによる減少があったものの、売上債権の減少44,911千円、映画制作費償却23,498千円、持分法による投資損失18,910千円などによる増加があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られた資金は、62,330千円となりました。これは、投資有価証券の取得による支出9,664千円があったものの、貸付金の回収による収入86,057千円があったことが主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、138,144千円となりました。これは、短期借入金の純減少額74,314千円、社債の償還による支出36,500千円、長期借入金の返済による支出34,000千円などが主な要因であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の業績は概ね順調に推移しており、平成21年1月9日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
増加1社

社名 株式会社T&C F Iホールディングス
異動理由：会社分割による新設

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
簡便な会計処理

一部の項目については簡便な会計処理を適用しておりますが、重要なものではありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用しておりますが、これによる損益への影響はありません。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会平成18年5月17日実務対応報告第18号)を第1四半期連結会計期間から適用し、連結決算上必要な修正を行っておりますが、これによる損益への影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	158,713	214,642
売掛金	164,153	205,730
たな卸資産	8,829	12,892
営業投資有価証券	31,861	40,755
その他	98,394	189,693
流動資産合計	461,953	663,714
固定資産		
有形固定資産	54,727	52,932
無形固定資産		
のれん	15,075	18,474
映画制作費	806,756	812,578
特許権	214,600	220,150
その他	22,504	22,609
無形固定資産合計	1,058,937	1,073,812
投資その他の資産		
投資有価証券	381,602	362,790
関係会社株式	332,633	351,435
関係会社長期貸付金	153,628	140,951
その他	93,934	92,805
投資その他の資産合計	961,800	947,982
固定資産合計	2,075,464	2,074,727
資産合計	2,537,418	2,738,441
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,790	6,854
短期借入金	305,360	375,403
1年内返済予定の長期借入金	136,000	136,000
未払法人税等	46,908	47,126
返品調整引当金	4,235	3,679
その他	286,496	343,631
流動負債合計	781,791	912,695
固定負債		
長期借入金	292,000	326,000
その他	169,169	166,752
固定負債合計	461,169	492,752
負債合計	1,242,961	1,405,447

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	721,542	711,525
資本剰余金	504,125	504,125
利益剰余金	△450,100	△375,728
株主資本合計	775,566	839,921
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△9,092	△13,576
為替換算調整勘定	△82,806	△91,092
評価・換算差額等合計	△91,898	△104,669
少数株主持分	610,789	597,742
純資産合計	1,294,457	1,332,994
負債純資産合計	2,537,418	2,738,441

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)
売上高	318,684
売上原価	163,303
売上総利益	155,381
返品調整引当金戻入額	3,679
返品調整引当金繰入額	4,235
差引売上総利益	154,825
販売費及び一般管理費	203,958
営業損失(△)	△49,133
営業外収益	
受取利息	701
その他	36
営業外収益合計	738
営業外費用	
支払利息	7,271
持分法による投資損失	18,910
その他	4,274
営業外費用合計	30,456
経常損失(△)	△78,852
特別損失	
有形固定資産除却損	13
特別損失合計	13
税金等調整前四半期純損失(△)	△78,865
法人税、住民税及び事業税	1,086
法人税等調整額	△1,632
法人税等合計	△545
少数株主損失(△)	△3,948
四半期純損失(△)	△74,372

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前四半期にかかる財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年11月期第1四半期)	
	金額(千円)	
I 売上高		332,534
II 売上原価		156,208
売上総利益		176,325
返品調整引当金戻入額		4,297
返品調整引当金繰入額		4,888
差引売上総利益		175,734
III 販売費及び一般管理費		193,401
営業損失		17,666
IV 営業外収益		
1 受取利息	389	
2 雑収入	290	680
V 営業外費用		
1 支払利息	8,045	
2 持分法による投資損失	6,361	
3 為替差損	5,922	
4 雑損失	1,277	21,606
経常損失		38,592
VI 特別損失		
1 固定資産除却損	1,365	1,365
税金等調整前第1 四半期純損失		39,958
法人税、住民税 及び事業税	13,691	
法人税等調整額	3,265	16,957
少数株主損失		3,285
第1四半期純損失		53,631